

USB インタフェース製品を Excel VBA で使用する方法

2009 年 11 月 20 日株式会社タートル工業

当社 USB 製品のドライバについては VBA サポート対象外ですが、構造上は Visual Basic などと同様の記述方法で動作します。

- 1) ドライバ関数を使用するには標準ライブラリを VBA に組み込んで下さい。通常はプロジェクトペイン(左側のプロジェクトタイトルの窓)にドライバ付属の VB6 用標準ライブラリファイル(*.bas)をドラッグ&ドロップして下さい。
- 2) ドライバ関数を適切に呼び出してください。ドライバ関数の機能は製品毎に異なりますので取扱説明書や VB6 のサンプルソースコードを参照してください。

TUSB-S01TC(2Z)および TUSB-02PMC(Z)用のサンプルプログラムをホームページに掲載しておりますので、参考にして下さい。他の製品にも応用できます。

[TUSB-S01TC(2Z)用サンプルプログラムについて]

(機能) TUSB-S01TC(2Z)から K 熱電対の設定でデータを 100 個取り込み、セルに入力します。

[TUSB-02PM CZ 用サンプルプログラムについて]

(機能) デバイス ID"0"、制御チャンネル"0"固定です。初速値、定速値、加減速レート、周波数レンジの書き換えが可能となっています。カウンタはエンコーダ入力に設定され CW/CCW 指定数スタート制御のみです。急停止、緩停止ボタンがあります。その他はすべて電源投入時の初期設定にて動作します

※ サンプルプログラムは動作保障対象外です。

※ VBA の使用方法については製品のヘルプファイルや一般解説書などをご参照下さい。